

2019年7月～9月

暗唱聖句 第三期 「この最も小さい者」

口語訳

第一課 七月六日 「貧しい者をしえたげる者はその造り主を侮る、乏しい者をあわれむ者は、主をうやまう」 箴言 一四ノ三一 口語訳	第二課 七月十三日 「あなたはあだを返してはならない。あなたの民の人々に恨みをいだいてはならない。あなた自身のようにあなたの隣人を愛さなければならぬ。わたしは主である」 レビ記 一九ノ一八 口語訳	第三課 七月二十日 「また彼らに言われた、『安息日は人のためにあるもので、人が安息日のためにあるのではない』」 マルコ 二ノ二七 口語訳	第四課 七月二十七日 「弱い者と、みなしごとを公平に扱い、苦しむ者と乏しい者の権利を擁護せよ。弱い者と貧しい者を救い、彼らを悪しき者の手から助け出せ」 詩篇 八二ノ三、四 口語訳	第五課 八月三日 「人よ、彼はさきによい事のなんであるかをあなたに告げられた。主のあなたに求められることは、ただ公義をおこない、いっくしみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩むことではないか」 ミカ 六ノ八 口語訳	第六課 八月一日 「わたしが選ぶところの断食は、悪のなわをほどこき、くびきのひもを解き、しえたげられる者を放ち去らせ、すべてのくびきを折るなどの事ではないか。また飢えた者に、あなたのパンを分け与え、さすらえる貧しい者を、あなたの家に入れ、裸の者を見て、これを着せ、自分の骨肉に身を隠さないなどの事ではないか」 イザヤ 五八ノ六、七 口語訳	第七課 八月十七日 「主の御霊がわたしに宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、わたしを聖別してくださったからである。主はわたしをつかわして、囚人が解放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、打ちひしがれている者に自由を得させ、主のめぐみの年を告げ知らせるのである」 ルカ 四ノ一八、一九 口語訳
第八課 八月二十四日 「すると、王は答えて言うであろう、『あなたがたによく言っておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである』」 マタイ 二五ノ四〇 口語訳	第九課 八月三十一日 「父なる神のみまえに清く汚れない信心とは、困っている孤児や、やもめを見舞い、自らは世の汚れに染まずに、身を清く保つことにほかならない」 ヤコブ 一ノ二七 口語訳	第一〇課 九月七日 「あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることがないためなのである。わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである」 エペソ 二ノ八ノ一〇 口語訳	第一課 九月十四日 「だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあつては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているからである」 一コリント 一五ノ五八 口語訳	第二課 九月二十一日 「光は正しい者のために暗黒の中にもあらわれる。主は恵み深く、あわれみに満ち、正しくいらせられる。恵みを施し、貸すことをなし、その事を正しく行う人はさいわいである」 詩篇 一一二ノ四、五 口語訳	第三課 九月二十八日 「また、約束を下されたのは忠実な心であるから、わたしたちの告白する望みを、動くことなくしっかりと持ち続け、愛と善行とを励むように互に努め：ようではないか」 ヘブル 一〇ノ二三ノ二五 口語訳	

「SDA教団伝道局ホームページ(安息日学校部)」 『 <http://adventist.jp/evangelism/ss> 』

⇒ 聖書研究ガイド ⇒ 暗唱聖句表から 口語訳／新共同訳をダウンロード